



塩竈観光振興ビジョン策定ワークショップ

## 「塩竈の魅力発見・にぎわいづくり」

### 第4回 かわら版

塩竈市のこれからの観光事業の方向性を示す「塩竈市観光振興ビジョン」策定を進めるため、さまざまな活動をしている方の意見を頂戴するワークショップの第4回が開催されました。

第3回までのワークショップをふまえて、今回の開催の前に事務局にて4エリア「門前町」「海岸通～マリンゲート～松島」「魚市場」「浦戸」について検討会を行い、その中でも観光ビジョンの中心にすえるべき「門前町」について今回ワークショップを行い、より具体的な案出しを行いました。



#### 【開催概要】

開催日時：平成30年2月10日（木）17時00分～20時00分

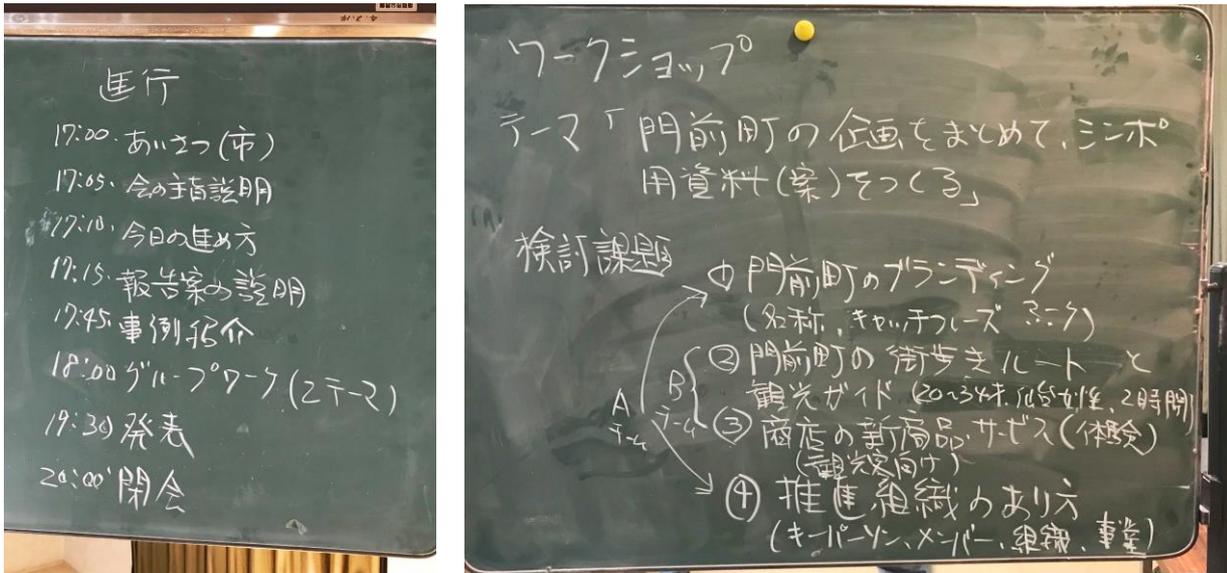
開催場所：塩竈市杉村惇美術館

参加者：ワークショップ参加者7名、市4名、事務局5名

進行：金子和夫氏（総合アドバイザー）

## 【開催内容】

「門前町の企画をまとめて、シンポジウム用の資料（案）を作成する」というテーマに沿った課題を2グループにわかれて検討を行いました。



### (1) 課題検討

#### [A グループ課題]

- ・ 門前町のブランディング (名前、キャッチフレーズ、マーク)
- ・ 推進組織のあり方 (キーパーソン、メンバー、組織、事業)

#### [B グループ課題]

- ・ 門前町のまち歩きルートと観光ガイド (想定：20～34歳女性、仙台在住、2時間)
- ・ 商店の観光客向け新商品・サービス (体験)

### (2) 発表



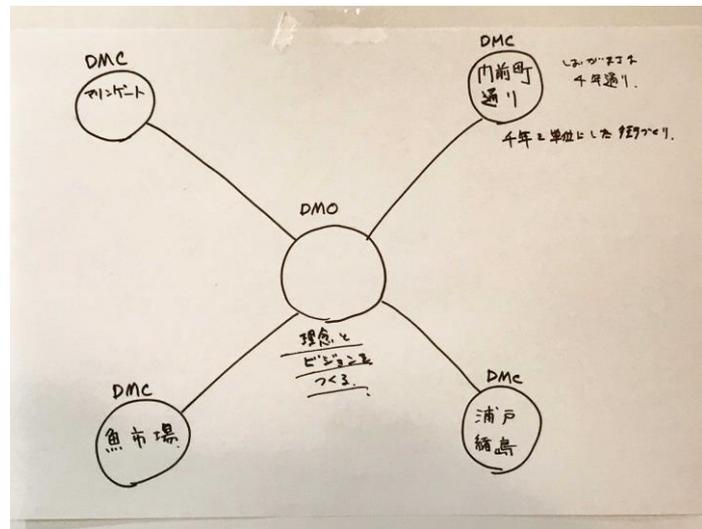
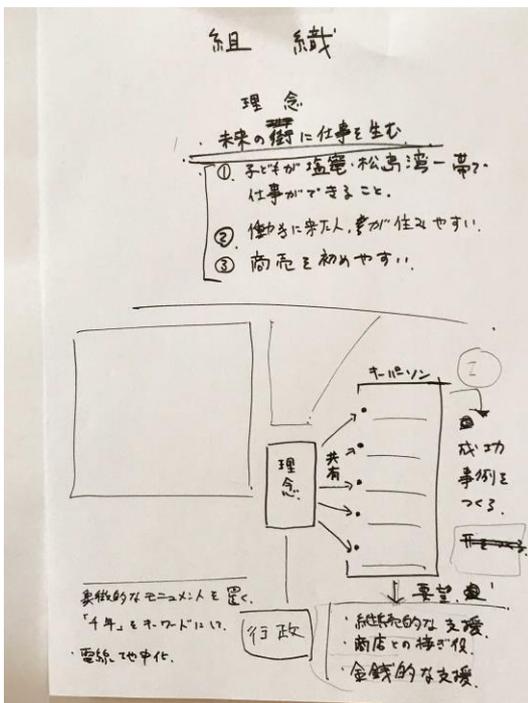
[A グループ発表]

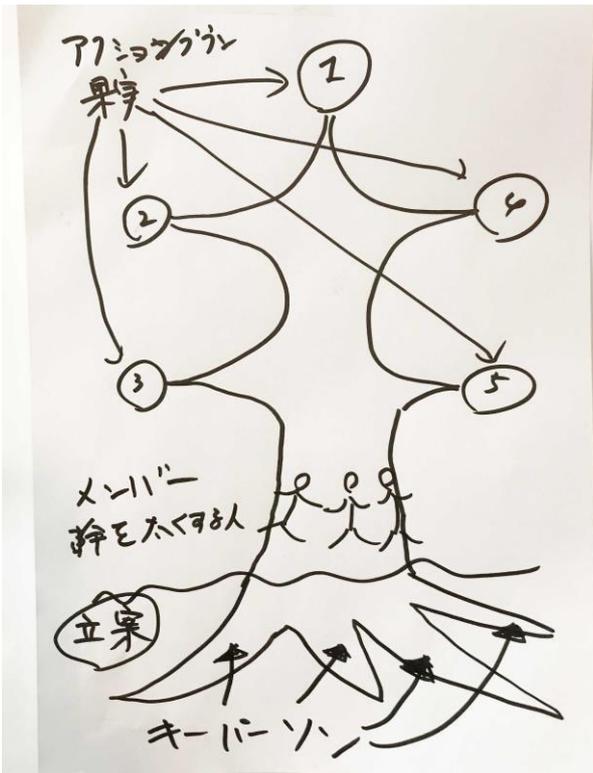
◎ 組織について：共通の理念を旗印にまちの中の関係性があるキーパーソンが成功事例を作っていく。行政は、「継続的な支援」「商店との維ぎ役」「金銭的な支援」を行う。

◎ 共通の理念は「未来の街に仕事を生む」としたい

- ① 子どもが塩竈・松島湾一帯で仕事ができること
- ② 働きに来た人が住みやすい
- ③ 商売を始めやすい

◎ 「門前町エリア」「マリンゲートエリア」「魚市場エリア」「浦戸エリア」それぞれのエリアで観光の機能（DMC）をもち、それぞれが同じ理念（DMO）でつながるイメージで展開する。





キャッチフレーズ  
キーワード おもてなし

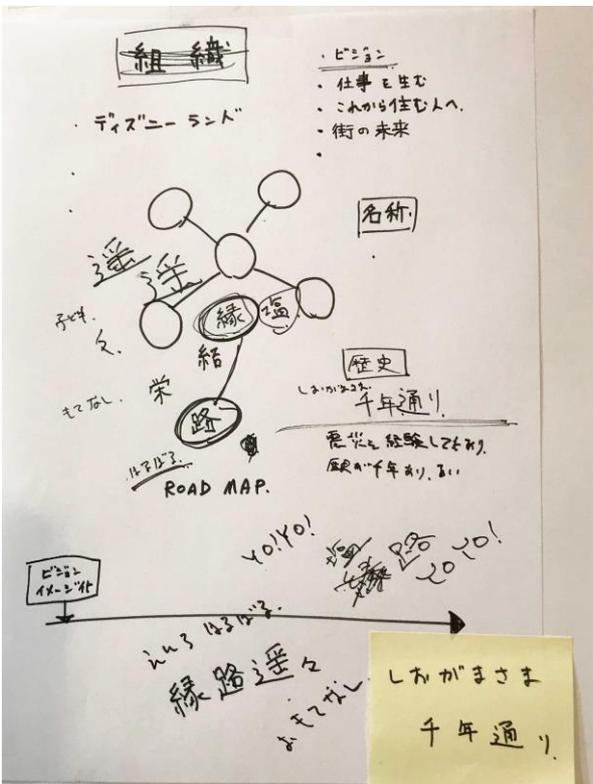
- ・ 緑のみち。
- ・ 塩のみち。(塩竈のみち)
- ・ おもてなし → 次の機会につながる。
- ・ 未来へつながる

天

◎ アクションプランを具現化し、実現するために、今回集まった方々のようにまちを語る事ができるキーパーソンが中心となり同志を増やしていく必要がある。

◎ キャッチフレーズは、いままで上がったワードから発想する。

- ・ 緑のみち・塩のみち・おもてなし → 次の機会につながる・未来へつながる



千年 1000 千年

ロゴの考えかた.

~~漢数字を使う~~

「塩竈・千年」を使う。

「しらかがま・1000年」

~~1000~~

1000 の単位?

歴史的意味合い

1000年 ~~連続して見せる~~

門前町の仮字「开」

と1000を組み合わせ?

千 千

1000 开

千

1000

◎いままで（千年と表現）の歴史を背負い、これからの（千年と表現）をつくっていく、それぐらいの規模感を含んでいる地域である。

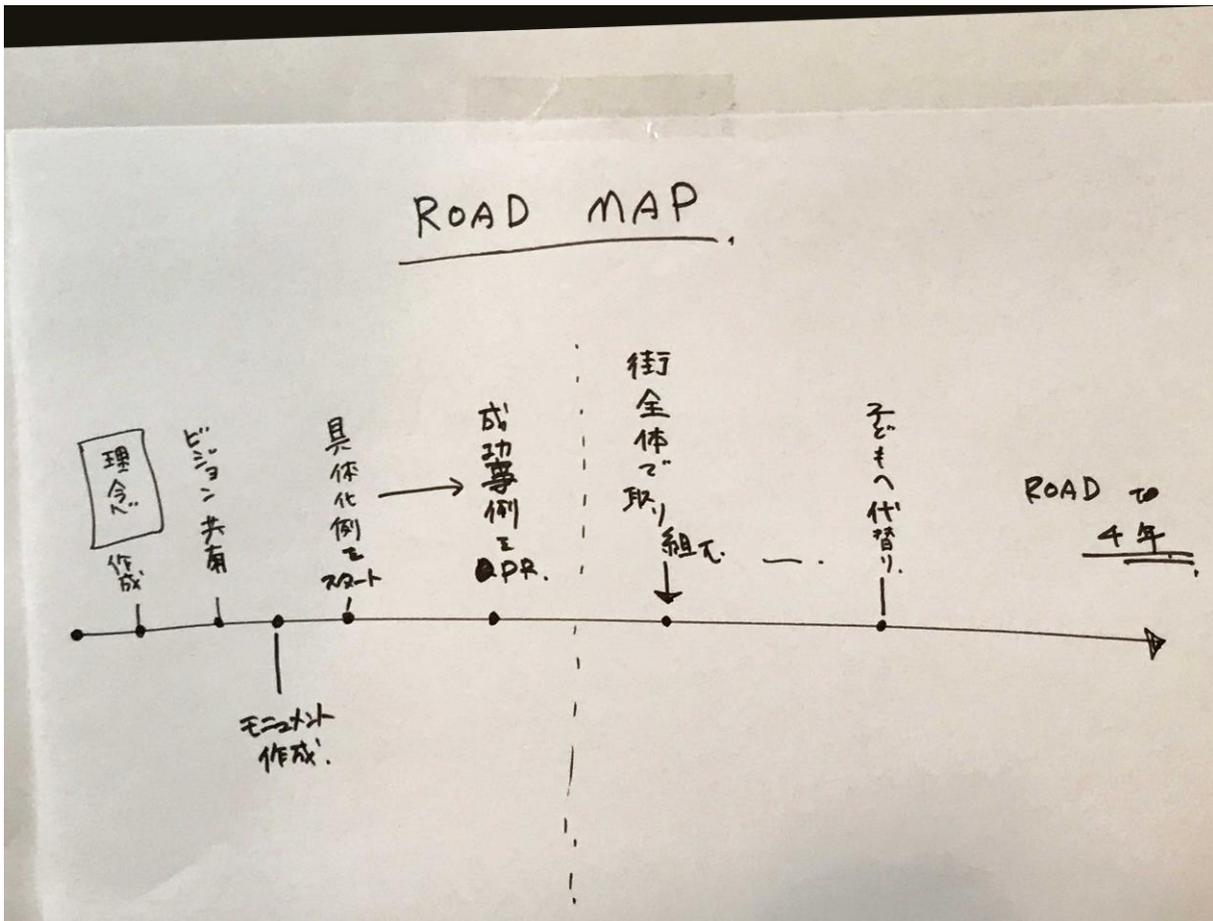
> 門前町が牽引すべきコンセプトを表現し『しおがまさま千年通り』と命名する。

◎ロゴの考え方

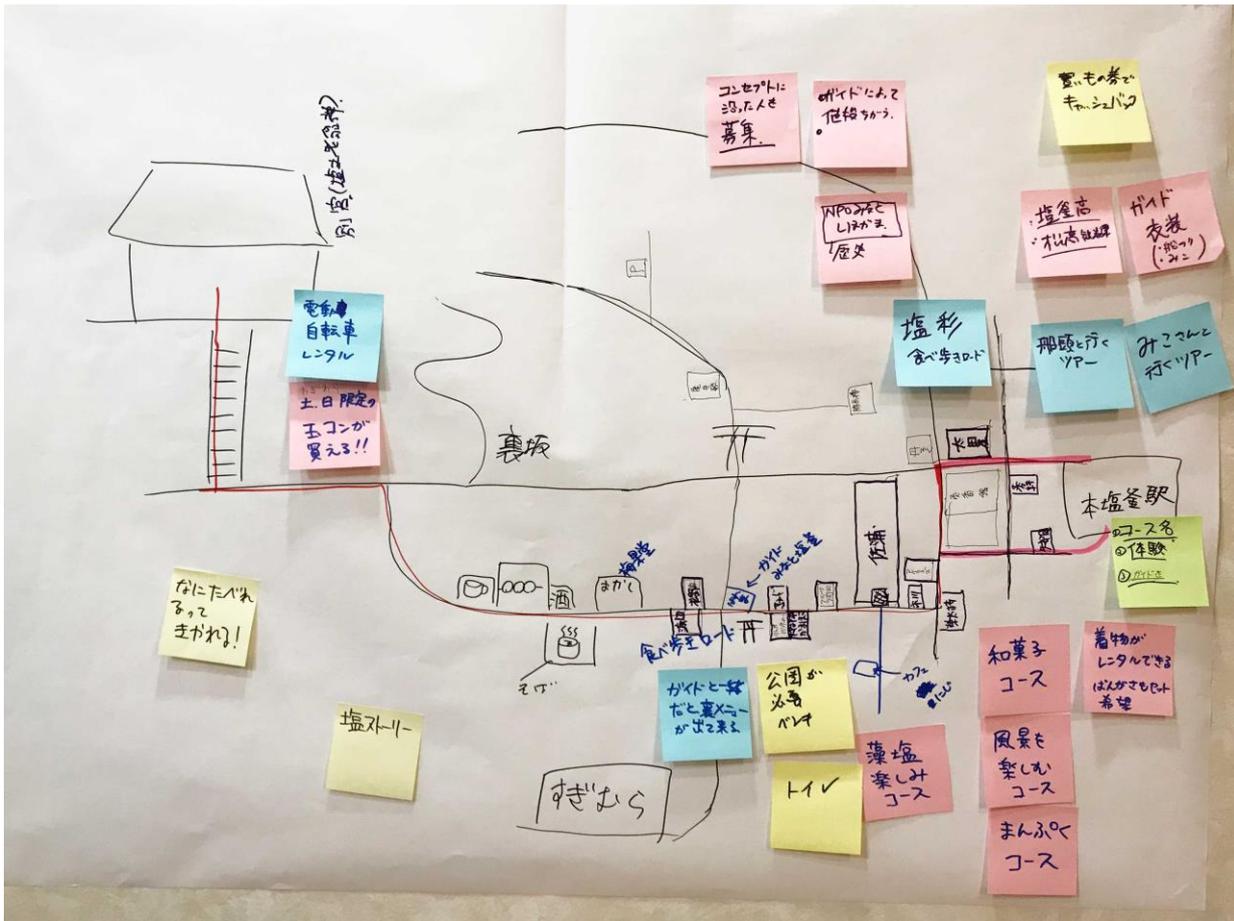
「塩竈」「千年」「歴史的意味合い」「門前町イメージの鳥居」から発想する

◎門前町の配置の一案

- ・ 門前町入り口に象徴的なモニュメントを設置する
- ・ 電線を地中化し景観をつくる



[B グループ発表]



- ◎ 本塩釜駅を降り鹽竈神社参拝、駅に戻る徒歩コースで検討した。
- ◎ 参拝は、「表坂」へ誘導するとし、体力にあわせて「裏坂」コースも検討する。
- ◎ 「浦霞～御釜神社～表坂」の通りと「太田屋～裏坂～表坂」の通りをどう組み合わせるか。
- ◎ 駅前町観光（買い物・体験）を参拝後だとすると、参拝前後同じコースでもよいかもしれない。
- ◎ 駅前町通過に「和菓子コース」「風景を楽しむコース」「藻塩楽しみコース」「着物で回遊コース」「塩彩食べ歩き」「巫女さんと行くツアー」「船頭と行くツアー」「まんぷくコース」などテーマ名を設定する。
- ◎ 歴史散策はNPO みなどしほがまの協力を得るが、若い女性向けに「おしやれ」「かわいい」「おいしい」をテーマにガイドできる若い感覚のガイドの育成も必要
- ◎ ボランティアではなく、有料の水準をたもったガイド教育が必要。
- ◎ ガイドコンセプトに沿ったやる気のある人を募集する。
- ◎ 主婦の力を活用したボランティア育成（他地域を参考）も発展性がある。
- ◎地域の学生（塩釜高校、松島高校）の力を取り入れても面白い。

[まとめ]

ワークショップで出た案は策定委員会へ上げ塩竈市の観光ビジョンへ結びつけていく。さらに 3月 18 日（日）開催のシンポジウムでは、ワークショップの活動や案を発表する予定。ワークショップとしては今回が最終ですが、集まったメンバーからは今後も意見を頂戴していく予定であり、メンバーも拡大し、よりよい具体的な観光策へ取り組む予定でいます。